

Title	趣旨説明／参加者名簿／プログラム
Author(s)	
Citation	近代東アジア土地調査事業研究ニューズレター = 近代東亞土地調査事業研究通訊 = Comparative Study of Cadastral Survey in Modern East Asia, News Letter. 4 P.1-P.2
Issue Date	2009-03
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/27011
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

第三回ワークショップ「近代東アジア土地調査事業研究」 Workshop on Comparative Study of Cadastral Survey in Modern East Asia

2008年11月23～24日、大阪大学において第三回ワークショップ「近代東アジア土地調査事業研究」が開催されました。今年度は、台湾 中央研究院より廖泮銘氏をお招きして、講演していただきました。またコメンテータとして、台湾から国立東華大学の郭俊麟氏を、国内から東京大学の田島俊雄氏・松村史穂氏を、新たにお迎えしました。廖氏は中央研究院でGISを利用したプロジェクトの開発を進めている技術者で、郭氏もGISを活用した教育研究の最先端を歩んでいる研究者です。本研究課題を充実させていくには地図の発掘・活用が重要であることから、小林茂教授の支援を得てお招きした次第です。また、1949年以降の中国大陸における土地調査や農業関係統計の研究を進めている田島・松村両氏からは、49年以前に重点をおく本研究課題との連続・比較を考えるうえで有用なコメントを頂戴すべくお招きしました。

1. 参加者名簿

荒武達朗（徳島大学総合科学部准教授 中国近現代史）
稲田清一（甲南大学文学部教授 中国明清～近代史）
江夏由樹（一橋大学経済学研究科教授 中国近代東北史）
大坪慶之（大阪大学非常勤講師／特任研究員 中国近代史）
郭 俊麟（台湾 国立東華大学郷土文化学科助理教授 人文地理学）
片山 剛（大阪大学文学研究科教授 中国明清～近代史）
小島泰雄（神戸市外国語大学外国学研究所准教授 人文地理学）
小林 茂（大阪大学文学研究科教授 人文地理学）
神野麻衣（大阪大学大学院学生）
田口宏二郎（追手門学院大学准教授 明清史）
田島俊雄（東京大学社会科学研究所教授 現代中国経済）
田 由甲（大阪大学大学院学生）
波江明彦（大阪大学特任研究員 人文地理学）
沼田英年（大阪大学大学院学生）
橋本浩一（大阪府小学校教諭 中国近代史）
藤澤聖哉（大阪大学大学院学生）
松村史穂（東京大学大学院学生 中国現代史）
横山博俊（大阪大学大学院学生）
廖 泮銘（台湾 中央研究院人文社会科学研究中心研究助技師 地理空間情報学）
渡辺理絵（日本学術振興会特別研究員 PD 人文地理学）

2. プログラム

開催期日：2008年11月23日（日）～24日（月）

開催場所：大阪大学豊中キャンパス（大阪府豊中市待兼山町）

◆11月24日（土）

受付開始 12時00分（法経大学院総合研究棟7階 大会議室前）

開会 13時00分（法経大学院総合研究棟7階 大会議室）

司会 荒武 達朗（徳島大学）

報告1 田口 宏二郎（追手門学院大学）

南京国民政府時代の土地登記と「他項権利」(2) —「抵押権」を中心に—

特別講演 廖汝銘 氏（台湾 中央研究院）

中央研究院所蔵の中国・台湾歴史地図とGIS計画

《通訳：郭俊麟 氏（台湾 国立東華大学）》

報告2 大坪 慶之（大阪大学）

南京八卦洲の旗地に対する権利について

報告3 片山 剛（大阪大学）

20世紀前半、南京江心洲開発史と土地調査事業

終了 17時30分

レセプション 18時00分～20時00分（文法経本館 中庭会議室）

◆11月25日（日）

再開 9時00分（法経大学院総合研究棟7階 大会議室）

司会 稲田 清一（甲南大学）

コメント1 郭 俊麟（台湾 国立東華大学）

コメント2 小林 茂（大阪大学）

コメント3 江夏 由樹（一橋大学）

コメント4 小島 泰雄（神戸市外国語大学）

コメント5 松村 史穂（東京大学）

コメント5 田島 俊雄（東京大学）

閉会 12時15分

解散 12時30分